



第8回 議会 定例会

平成十九年度一般会計補正予算など 十九件を可決・同意

平成十九年第八回町議会定例会が十二月十七日から二十日までの四日間開かれました。
今回の定例会では、平成十九年度一般会計および特別会計補正予算など十九件の議案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決されました。

町長の行政報告

(一部抜粋)

約一億九千万円の未納金 回収の取り組みを強化

町税や各種使用料や負担金等の未納金が約一億九千万円余りあり、町財政を悪化させていることから、税負担等の公平性や財源確保のために関係各課長で組織する「美郷町滞納対策本部」と税務課内に新たに「滞納対策班」を設置し、各種未納金の回収に向けた取り組みを強化したところです。

協働参画のまちづくりに向けて 基本的な方針を策定

住民がお互いに支え合い、助け合う共助の醸成、地域づくりや地域社会へ

の貢献などを目的として、昨年度から町職員による検討やアンケート調査、関係する社会福祉協議会やシルバー人材センターとの情報交換を行い、「協働参画のまちづくりに関する基本的な方針」を策定しました。

現在、この方針を具体化するため、実際にボランティア活動などに参加している方々と町職員による検討委員会を立ち上げ、検討に着手しておりますが、更に社会福祉協議会や既存の人材バンク、シルバー人材センターとの調整や棲み分けなどを整理し、事業化に向けて準備を進めてまいりたいと考えております。

地域内交通のあり方を検討

六月八日から十一月二十七日までに四回の内部検討会を開催し、町全体の公共施設利用、通勤、通学、通院や地域内交流の促進や生活バス路線の廃止による代替交通の確保など、福祉、教育、産業、住民生活などさまざまな視点で、町の地域内交通のあり方について検討しております。町の地域内交通としては、地域内交流と公共施設への交通確保のための南北線と廃止路線の代替を含んだ東西線が必要との方向性で更に検討を深めてまいります。

水環境保全を目的として 条例の年度内制定を目指す

水環境の保全を図るため、河川等の水質検査や水源周辺へのごみ不法投棄の監視などの施策を講じてきておりますが、将来にわたって清浄な水環境を維持できるよう、町民各位の意識啓発を意図した条例を策定したいため、その検討委員会を立ち上げ、十二月四日、第一回目の検討会を開催しております。今後、さらに検討を重ね、年度内の条例制定を目指してまいります。

介護保険料の過徴収について

先般、町及び介護保険事務所双方の事務手続きの不手際から、美郷町の一部の方々の年金から天引きされる十月分の介護保険料について、税制改正により保険料が上昇した方々に対する軽減措置を講ぜず、年金から徴収するという事態が発生いたしました。

該当する四百六十七名の被保険者の皆様に対し、多大なご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後このようなことがないように再発防止に万全を期してまいりますので、引き続き介護保険事業にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

該当する皆様には、介護保険事務所より早速お詫びと過徴収の内訳の通知

を送るとともに、十一月二十六日、十月に過徴収した介護保険料を対象者に還付しております。また、介護保険事務所で十二月及び二月の年金からの徴収について徴収額の変更ができるか社会保険庁に問い合わせましたが、中途での変更はできないとのこと、社会保険庁から送付される年金からの控除額確定データを確認後、介護保険事務所で速やかに還付手続きをとっております。

管内の米の作柄と集荷状況

管内の米の作柄と秋田統計情報センター発表県南地区の作況指数ですが、出穂期以降の異常高温や日照不足、集

中豪雨などで作柄が心配されたものの、県南は104の「やや良」となりました。十二月一日現在の米の出荷状況ですが、美郷町全体では六十キログラム換算で昨年より約六千二百俵多い三十三万九千四百四十九俵が集荷され、一等米比率は昨年より一・二ポイント下降して九十四・六%となっております。

美郷町堆肥センター建設工事

進捗状況は計画どおり

八月二十日から建設工事が進められている美郷町堆肥センターですが、十一月末の工事進捗率は建築部門が五十五%、電気設備五十四%、機械設備八

十七%で、計画どおり進んでおります。なお、堆肥センターの運営ですが、十月二十五日、第三セクターとして株式会社「美郷の大地」が設立され、代表取締役兼畜産団体の代表が就任しております。

全国学習状況調査

本町はおおむね良好と判断

全国学習状況調査を今年の四月に小学校六年生と中学校三年生を対象に実施しております。結果につきましては、国、県の平均と比較した町の平均という形で十月下旬に県から示されております。また、児童生徒一人ひとりに対しては、個票が学校を通じて手渡

されております。

今回実施した国語、算数・数学の学習状況は、全国と比較した場合、おおむね良好と判断していますが、知識・技能等の「活用」に係る問題に着目すると、特に小学校では今後一層力を付けていく必要があるように思われます。今後、各学校において実態を分析し、保護者に状況を説明することとしております。また、到達している判断できる領域については一層の充実と伸長を図るとともに、不足している領域については、それぞれの児童生徒や保護者とともに課題を共有し、速やかに指導方法の改善に取り組んでまいります。

可決・同意された主な議案

●美郷町固定資産評価審査委員会委員の選任について

委員の任期満了に伴い、次の方々に再任しました。

泉 龍弘氏(下畑屋)
小西 弘蔵氏(米町)
藤田 智氏(上野荒町)

●美郷町教育委員会委員の選任について

委員の任期満了ならびに辞任に伴い、次の方々に再任ならびに選任しました。

再任 照井 成一氏(後三年)
新任 高橋 郷氏(本道町)

●人権擁護委員の推薦について

委員の辞任に伴い、新たに次の方を推薦しました。

吉水 是真氏(東高方町)

●指定管理者の指定について

美郷町アクティセンターならびに美郷町堆肥センターの管理運営について、指定管理者として「株式会社美郷の大地」を平成二十三年三月三十一日まで指定しました。

●平成十九年度美郷町一般会計補正予算第六号について

仙南地区最終処分場場内整備工事に繰り延べに伴う歳入歳出予算の減額(三百八十八万二千円)、教育施設環境整備に伴う工事請負費の増額(二百九十九万円)などについて、歳入歳出予

算の総額に歳入歳出それぞれ一億千五百三十三万一千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ百十五億二千八百九十七万五千円としました。

●平成十九年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第二号

退職被保険者等療養給付費等の増額などについて、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ六千七百二十四万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二十五億四千九百四十四万四千円としました。

●平成十九年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第三号

六郷東部地区簡易水道事業の事業量追加に伴う歳入歳出予算の増額及び人件費の調整などについて、歳入歳出予

算の総額に歳入歳出それぞれ千三百六十二万九千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ五億三千三百三十三万一千円としました。

●平成十九年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第三号

下水道事業債の増額、公共下水道事業の事業費の組み替え及び人件費の調整などを行いました。これに伴う歳入歳出予算の増減はありません。

●平成十九年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第三号

人件費の調整を行いました。これに伴う歳入歳出予算の増減はありません。